

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水曜日・3校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 205・中部講堂	
対象学生(クラス等) M12 P19	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山口純哉 / Eメールアドレス: junya@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 経済学部 / オフィスアワー: 水曜 17:00-18:00 高木保昌 / Eメールアドレス: takaki@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 水産学部 / オフィスアワー: 水曜 15:00-18:00 富塚 明 / 研究室: 環境科学部 / オフィスアワー: 木曜 12:00-13:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 : 特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」「平和」「海洋と文化」の分野についてそれぞれ3回ずつ講義する。 授業到達目標: 特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 長崎: 長崎の地域経済・社会の特徴を統計資料等を用いて概観したうえで、観光、まちづくりや文化といった視点から長崎の今を受講生とともに検討する。 平和: イラク戦争、防衛庁の「省」への移行、憲法九条を変えようとする動き、北朝鮮の核実験など21世紀にはいって平和の問題がこれまで以上に問われるようになっている。長崎県は原爆被爆県であると同時に全国有数の米軍・自衛隊基地を抱えている県でもある。核兵器と基地問題に焦点を当てて、長崎県のおかれている現状を考える。 第1回 長崎原爆被害の実相 第2回 核兵器をめぐる諸問題 第3回 米戦略と長崎県の軍事基地 海洋と文化: (1) 長崎の海と外国往来船 長崎の海は早くから外国との交わりが深く、色々な文化が持ち込まれた。その海を利用して文化交流が船によってもたらされた背景を学ぶ。 (2) 西海の海 長崎の海は、近海・東シナ海と好漁場を持ち、多数の魚が捕獲され、長崎の水産業は発展を遂げた。資源の減少・大陸棚・200海里問題等で衰退している現状を学ぶ。 (3) 練習船発祥地長崎 練習船発祥の地長崎を通して教育練習船の歴史背景について学び、水産学部練習船の概要を知る。 第1回 4月11日 特別講演 齋藤 寛 (学 長) 第2回 4月18日 海洋と文化 高木保昌 (水産学部) 第3回 4月25日 海洋と文化 高木保昌 (水産学部) 第4回 5月 2日 海洋と文化 高木保昌 (水産学部) 第5回 5月 9日 特別講演 岩永 浩 (名誉教授) 第6回 5月16日 特別講演 今田 正 (名誉教授) 第7回 5月23日 平 和 富塚 明 (環境科学部) 第8回 5月30日 平 和 富塚 明 (環境科学部) 第9回 6月 6日 平 和 富塚 明 (環境科学部) 第10回 6月13日 特別講演 谷山紘太郎 (名誉教授) 第11回 6月20日 特別講演 玉利正人 (名誉教授) 第12回 6月27日 長 崎 山口純哉 (経済学部) 第13回 7月 4日 長 崎 山口純哉 (経済学部) 第14回 7月11日 長 崎 山口純哉 (経済学部) 第15回 8月 1日 特別講演 福永博俊 (教育担当理事)			
キーワード	長崎:長崎、文化、観光、まちづくり 平和:原爆被害、核兵器、基地、安保条約		

	海洋と文化:海、外国往来船、水産、練習船
教科書・教材・参考書	長崎:教員の作成した資料を用いるため、特に指定しない。 平和:テキストは使用しない。プリントを適宜配付する。 海洋と文化:教科書は使用しない、講義には適時資料を配付する。(参考書:長崎県の歴史)
成績評価の方法・基準等	長崎30点、平和30点、海洋と文化30点、特別講演10点の配点とする。 長崎:レポート(100%、10点×3回) 平和:毎回の講義のまとめ(100%) 海洋と文化:レポート(毎回、3回10点)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	